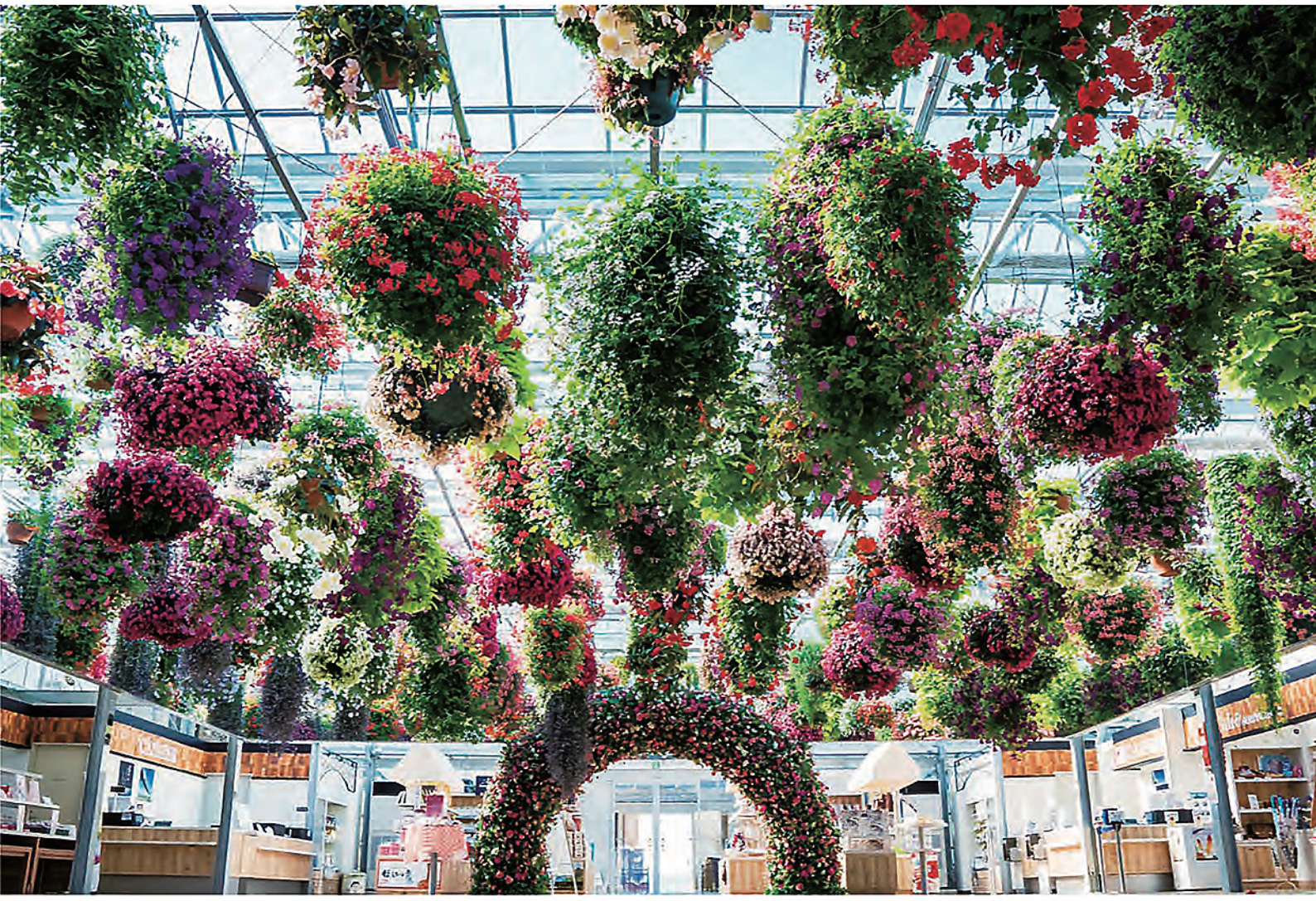
the Lion



Photo：三島スカイウォーク

2023-2024 Vol. 3

- 第70回地区年次大会報告
- 地区ガバナー年次報告
- 年次表彰クラブ一覧
- 地区ガバナー大賞・特別賞紹介
- 334複合地区 第70回年次大会報告
- 事務局だより

70th Yearly Convention

第70回地区年次大会

２０２４年４月２１日（日）三島市「ゆうゆうホール」を会場に第７０回地区年次大会が開催されました。

今年度前田　磨地区ガバナーの掲げたスローガン「変革への順応 未来を拓く “We Serve” の絆！」の集大成として素晴らしい大会にしようと，ホストの４Ｒ・２Ｚ・１０クラブでは１年前から準備を重ねてきました。

当日は１，０００名余の参加登録を頂き，代議員会と大会式典は粛々と進行，アトラクションのＵ－１５伊豆中学生吹奏楽団コンサートと，明るい雰囲気の中で盛況の内に幕を閉じました。

地場産品販売コーナー

前田 磨地区ガバナー

盲導犬紹介コーナー

年次表彰アシスタントのお出迎え

式典会場風景

代議員会

前田　磨地区ガバナーを議長に，渡邊英正キャビネット幹事司会のもとにまず３議案について議長より投票結果の発表が，続いて平居匡儀指名選挙委員長から次期地区ガバナー・第一，第二副地区ガバナー選挙の投票結果発表があり，全て代議員会にて承認されました。

代議員投票

平居指名選挙委員長と次期候補者

前田代議員会議長

代議員会風景

鷹嶋ガバナーエレクト
次期杉山第一，有賀第二副地区ガバナー

鷹嶋ガバナーエレクト挨拶

大会式典

大会式典も，渡邊キャビネット幹事の司会により進行しました。前田地区ガバナーの開会宣言，米山　智大会委員長の歓迎挨拶，地区ガバナーの年次報告と代議員会決議結果報告の後，来賓の増井浩二静岡県副知事・豊岡武士三島市長・鈴木　隆三島商工会議所副会頭各位の祝辞，年次表彰と粛々と進行しました。

司会の渡邊キャビネット幹事
アシスタントの小坂さん

開会宣言　前田地区ガバナー

式典会場風景

年次表彰

地区ガバナー基本方針に沿って顕著な活動を展開したクラブに贈られる年次表彰は，地区ガバナー大賞をはじめとして１５賞が１リジョン・１ゾーン・１１５クラブに贈られました。

地区ガバナー大賞

地区ガバナー大賞

地区ガバナー大賞

地区ガバナー特別賞

地区ガバナー特別賞

地区ガバナー特別賞

献眼・献腎・献血運動推進賞

未来開拓推進賞

会報・ホームページコンテスト

ガバナーエレクト登場

鷹嶋邦彦ガバナーエレクトと３Ｒ３Ｚメンバーが壇上に整列。鷹嶋ガバナーエレクトから熱き意気込みを感じる挨拶があり，次期鈴木　豊キャビネット幹事・湯山和行キャビネット会計が紹介されました。勝俣　昇次期大会委員長から第７１回地区年次大会の案内があり，その後，次期杉山節雄第一副地区ガバナー・有賀公哉第二副地区ガバナーの紹介の後，前田地区ガバナーの閉会宣言により式典の幕が下ろされました。

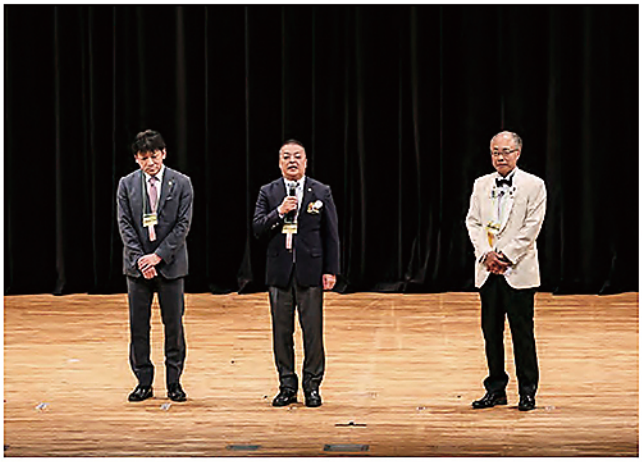
鷹嶋ガバナーエレクト登場

小山町マスコットキャラクター「金太郎」

次期キャビネットホスト３Ｒ３Ｚ ５クラブ

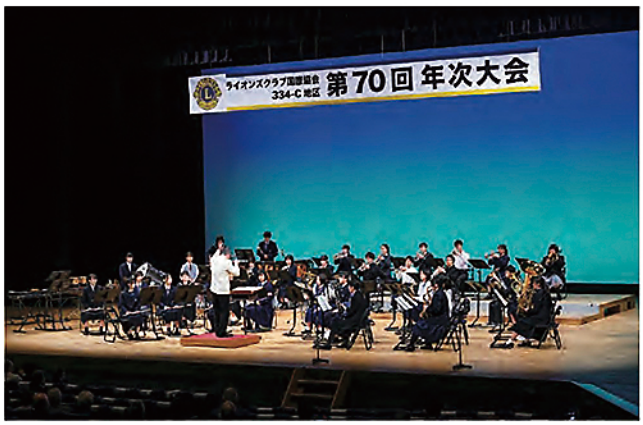
現，次期地区ガバナー

次期鈴木キャビネット幹事，勝俣大会委員長，湯山キャビネット会計


次期有賀第二，杉山第一副地区ガバナーの紹介

アトラクション

Ｕ－１５伊豆中学生選抜吹奏楽団は，オーディションに合格した静岡県東部地域の中学生によって２０２０年９月に発足した楽団です。今大会では地元市民や演奏者の親御さんも招待しました。テンポ良く楽しく華やかな演奏で聴衆も一体となり，大きな拍手に包まれました。ライオンズクラブの認知度向上にも一役買っていただき，年次大会式典を締め括るに相応しい素晴らしいひと時でした。



第70回年次大会記念 チャリティーゴルフ大会

第７０回年次大会記念チャリティーゴルフ大会は，２０２４年３月１３日（水）晴天の中，裾野市の東名カントリークラブで２０７名の多くのメンバーの参加のもと，盛大に開催されました。

チャリティー資金は，「静岡県聴覚障害者協会」「日本盲導犬協会・富士ハーネス」「スペシャルオリンピックス日本・静岡」「ＬＣＩＦ」「(公財) 日本ライオンズ・フットサル事業」に，また「能登半島地震義援金」にも寄付させていただきました。

優勝者は，裾野コースＬ青木賢吾（裾野ＬＣ），桃園コースＬ井口路明（袋井ＬＣ），愛鷹コースＬ佐藤信之（静岡ＬＣ）の３名でした。おめでとうございます。ゾーン担当メンバーの皆様には，早朝より準備から大会終了まで御協力いただきありがとうございました。

地区ガバナー年次報告

ライオンズクラブ国際協会３３４－C地区
地区ガバナー　　前　田　　磨

メンバー各位の多大なるご支援ご協力のお陰を持ちまして本年度地区キャビネット運営が滞りなく進展しておりますことに改めて感謝申し上げ,年次報告をさせて頂きます。

昨年7月11日,アメリカ合衆国ボストンにて開催された第105回国際大会閉会式にてガバナーエレクト·リボンが外され地区ガバナーに就任以来,私の任期も余すところ2カ月程となりました。"We Serve－我々は奉仕する" のモットーの下,今年度パティ·ヒル国際会長のテーマであります「Changing the World－世界を変える」に伴い,私も「Changing the Shizuoka·一人一人の笑顔溢れる334－C地区」を標榜し,アクティビティ·スローガンに「変革への順応 未来を拓く "We Serve" の絆!」を提唱致しました。

基本方針の「会員増強·クラブの強化」につきましては,国際協会が重点方針として打ち出した会員増強策M1.5により,特にZC各位には多大なるご支援を賜り,クラブ支部づくりや会員増強に積極的に取り組んで頂きました。結果2月末現在で71名の会員純増となり,各ZCはもとよりクラブ会長の皆様のご尽力に衷心より感謝申し上げます。

「変革への順応」については,天災等による自然環境,紛争やコロナ禍等による経済環境,また過疎化·人口減少等の地域環境など目まぐるしく変化する昨今,組織や地域また団体などを成長·復興させるには時代のニーズを的確に捉え,様々な環境に順応することが必須との思いを皆さんへお伝えし,クラブ運営や奉仕活動に邁進されるようお願いして参りました。

LCIFに於きましては能登半島地震,モロッコ地震,マウイ火災など,国内外の大災害に対しての義援金送金をはじめ,今年度当地区として始めて本格的に取り組んだ企業寄付や多くのメンバーがMJF寄付にも積極的にご協力を賜り,目標以上の結果を得ることが出来ました。

また「笑顔溢れる奉仕活動」GSTにつきましては社会·経済環境が困窮する中,昨年10月15日に開催された71クラブ統一「フード·ドライブ」事業ではメンバー各位のご支援のお蔭で「フードバンク·ふじのくに」へ5.5トンの食料品等の寄贈をすることが出来新聞紙上をはじめマスコミでも広く報道され,小児がん対策の「ヘアー·ドネーション」につきましても各クラブや地域の皆様から大変多くのご協力を頂きました。

そして「会員の資質向上·満足度UP」に繋げるべく,3月13日開催の地区年次大会記念チャリティーゴルフ大会収益金は「日本盲導犬協会」をはじめ県内2団体への寄付,能登半島地震被災地への災害支援金他として送金等々,地区内71クラブの強力な活動への取り組みにより素晴らしい成果を上げることが出来ました事に改めて心より感謝申し上げます。

他方,地域の過疎化·人口減少,会員の高齢化や役員輩出等の問題など,ライオンズクラブを取り巻く環境の格差を感じると共に,今後の地区内編成も考えていかなければならない時代が到来していることを痛感いたしました。

本日第70回地区年次大会にあたり,今後の80回·100回の開催に向けて "未来を拓く" には益々変革する様々な環境に順応していくことにより,地区の絆を深めるべくより一層の "We Serve" の精神が大切ではないかと思います。

結びとなりますが所属クラブはもとより地区役員,名誉顧問各位をはじめ71クラブ会長並びに会員お一人お一人のご支援ご協力に感謝申し上げますと共に,334－C地区の未来永劫の発展をご祈念申し上げ地区ガバナーとしての年次報告とさせて頂きます。

2023～2024年度地区活動総括報告

2023年7月1日～2024年2月29日

1. アクティビティ集計表

労力奉仕	延時間数	金銭奉仕	総金額
708件	18,749.5時	1,082件	107,302,831円

2. 会員異動状況

2023年7月初会員数	入会者数	退会者数	増減	2024年2月末会員数	平均出席率
2,788人	170人	99人	+71人	2,859人	79.1%

3. YCE交換実績

区　分	受　入	派　遣	合　計
夏　季	2人	2人	4人
冬　季	0人	0人	0人
合　計	2人	2人	4人

4. 献眼·献腎·献血実績

献眼者数	献腎者数	献眼登録者数	献血実績		
			200ml	400ml	成分
39人	0人	487人	381人	5,379人	741人

5. LCIF寄付実績

クラブ寄付金額	MJF寄付金額	LCIF寄付金総額
9,387,465円	39,708,545円	49,096,010円

※上記金額には,能登半島地震義援金「5,173,000円」と企業寄付金を含む。

6. その他地区キャビネットの活動として特記すべき事項

1) **2023年10月15日（日）「地区71クラブ統一奉仕の日フードドライブ」実施**
総重量5.5トンの食料品等を"静岡県フードバンクふじのくに"に寄贈。

2) **今年度LCIF企業寄付は2月末時点で16社より1,460,000円のご協力を頂いた。**

3) **2023年12月モロッコ地震·マウイ火災義援金2,510,000円をLCIFに指定寄付送金。**

4) **2024年1月能登半島地震義援金5,173,000円をLCIFに指定寄付送金。他名誉顧問会·地区内クラブよりD地区指定口座宛,義援金を送金。**

5) **2024年3月13日 第70回地区年次大会チャリティーゴルフ大会収益金を寄付**
参加者223名により実施したチャリティーゴルフ大会収益金を "日本盲導犬協会·富士ハーネス" "静岡県聴覚障害者協会" "スペシャルオリンピックス日本·静岡" "能登半島地震支援金" "（公財）日本ライオンズ－特別支援全国フットサル大会" "LCIF" に寄贈。

Annual Awards Clubs

年次表彰

第70回地区年次大会年次表彰受賞クラブ一覧表（クラブ名順不同）

●地区ガバナー大賞（１リジョン）
４Ｒ１６ＬＣ（熱海・伊東・下田・東伊豆・西伊豆・河津・三島・修善寺・大仁・土肥・函南・伊豆長岡
三島泉・中伊豆・天城湯ヶ島・韮山ＬＣ）

●地区ガバナー特別賞（１ゾーン・３クラブ）
袋井ＬＣ／２Ｒ１Ｚ５ＬＣ（静岡・静岡葵・静岡橘・静岡青葉・静岡芙蓉ＬＣ）／沼津中央ＬＣ／三島ＬＣ

●会員維持賞（１０クラブ）
大東ＬＣ／蒲原ＬＣ／沼津千本ＬＣ／富士宮芙蓉ＬＣ／西伊豆ＬＣ／三島ＬＣ／大仁ＬＣ／伊豆長岡ＬＣ
中伊豆ＬＣ／韮山ＬＣ

●会員増強賞（２３クラブ）
浜松南ＬＣ／磐田ＬＣ／掛川ＬＣ／御前崎ＬＣ／静岡葵ＬＣ／静岡橘ＬＣ／静岡青葉ＬＣ／清水羽衣ＬＣ
蒲原ＬＣ／榛南ＬＣ／静岡巽ＬＣ／沼津千本ＬＣ／沼津香陵ＬＣ／沼津中央ＬＣ／富士岳南ＬＣ
富士中央ＬＣ／富士マウントＬＣ／裾野ＬＣ／下田ＬＣ／三島ＬＣ／土肥ＬＣ／伊豆長岡ＬＣ／韮山ＬＣ

●グッドスタンディング賞（６クラブ）
三島ＬＣ／浜松南ＬＣ／磐田ＬＣ／静岡青葉ＬＣ／静岡巽ＬＣ／韮山ＬＣ

●マーケティング賞（６クラブ）
浜松ＬＣ／静岡青葉ＬＣ／静岡けやきＬＣ／富士宮ＬＣ／伊東ＬＣ／修善寺ＬＣ

●ＳＮＳ推進賞（３クラブ）
静岡ＬＣ／沼津ＬＣ／伊豆長岡ＬＣ

●青少年健全育成賞（８クラブ）
浜松ＬＣ／浜松グリーンＬＣ／森町ＬＣ／清水ＬＣ／静岡駿府ＬＣ／富士宮中央ＬＣ／熱海ＬＣ／修善寺ＬＣ

●献眼・献腎・献血運動推進賞（７クラブ）
御殿場ＬＣ／小山ＬＣ／浜松東ＬＣ／静岡葵ＬＣ／静岡リバティＬＣ／静岡ＬＣ／静岡巽ＬＣ

●環境保全推進賞（５クラブ）
菊川ＬＣ／静岡橘ＬＣ／富士吉原ＬＣ／富士岳南ＬＣ／天城湯ヶ島ＬＣ

●小児がん・糖尿病対策推進賞（５クラブ）
浜北ＬＣ／静岡芙蓉ＬＣ／清水町ＬＣ／富士宮ＬＣ／大仁ＬＣ

●ＬＣＩＦ・ＭＪＦ賞（７クラブ）
袋井ＬＣ／静岡ＬＣ／静岡葵ＬＣ／焼津ＬＣ／榛南ＬＣ／富士宮中央ＬＣ／三島ＬＣ

●ＬＣＩＦ・クラブ寄付賞（５クラブ）
三島ＬＣ／袋井ＬＣ／榛南ＬＣ／静岡葵ＬＣ／焼津ＬＣ

●未来開拓推進賞（２４クラブ）
浜松葵ＬＣ／浜松リバティＬＣ／浜松グリーンＬＣ／浜松さくらＬＣ／湖西ＬＣ／奥浜名湖ＬＣ／三ヶ日ＬＣ
掛川ＬＣ／大東ＬＣ／大須賀ＬＣ／清水ＬＣ／清水日本平ＬＣ／藤枝ＬＣ／島田ＬＣ／静岡弥生ＬＣ
沼津駿河ＬＣ／富士吉原ＬＣ／富士タカオカＬＣ／小山ＬＣ／長泉ＬＣ／東伊豆ＬＣ／河津ＬＣ／函南ＬＣ
三島泉ＬＣ

●クラブ会報・ホームページコンテスト（３クラブ）
磐田ＬＣ／藤枝ＬＣ／御殿場ＬＣ

※以上，１５賞・１リジョン・１ゾーン・１１５クラブ

Dist. Governors Award

地区ガバナー大賞紹介

天城山自然環境保全・地域活性化事業「天城を仰いで」

4R-1Z・2Z 16ライオンズクラブ　合同事業
1Z（熱海・伊東・下田・東伊豆・西伊豆・河津LC）
2Z（三島・修善寺・大仁・土肥・函南・伊豆長岡・三島泉・中伊豆・天城湯ヶ島・韮山LC）

４R１Z・２Zの１６ＬＣが伊豆半島の真ん中にある天城山の自然環境保全・地域活性化事業は**「今，天城山に異変が起きている」**という危機感から始まりました。

■天城山の誕生は・・・

約１００万年前に本州に衝突した伊豆半島が８０～２０万年前に成層火山として噴火を繰り返しました。噴火が収まると浸食が進み山頂部が失われ，残った山腹の最高地点が主峰の万三郎岳（１，４０６m）です。天城山は伊豆半島の中央部を東西に連なる山並みの総称です。東は遠笠山・万二郎岳・万三郎岳，西は白田峠までのこの山並みは伊豆の財産です。稜線沿いには，太平洋側としては貴重なブナの原生林が広く分布し，山頂一帯は天城シャクナゲの一大群生地になっています。ブナの林はたくさんの水を貯え，別名「緑のダム」と言われています。また，天城山周辺と八丁池周辺は富士箱根伊豆国立公園の特別保護区にも指定されています。

■「天城山に異変が！」

●その１が鹿による食害です

ここ２０年の間に食害によりスズタケ・ミヤマザサ等の大半が消えました。樹木の皮剥ぎによる立ち枯れや，里山の農産物への被害も多く，山腹の下草が食害により無くなり，土砂崩れが各所で発生しております。

●その２が荒れる登山道です

日本百名山の１つであり，年間１０万人の登山者が訪れ，雨が多い自然条件に加え多くの登山者による登山道の浸食が進み，林床の植生の破壊が進んでおります。

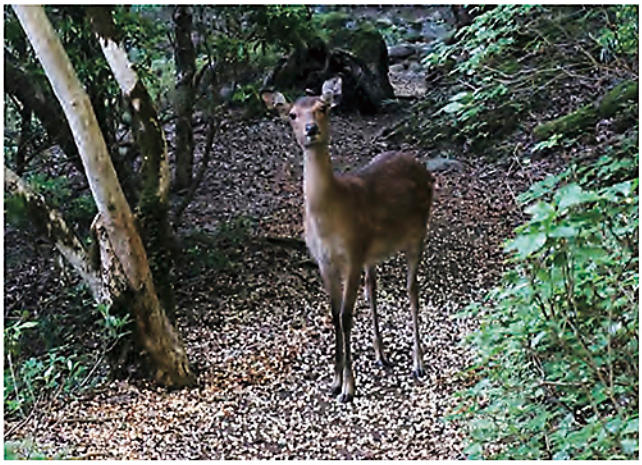
●その３は天城山全体の環境保全が進んでない

食害により保水力の無くなった山は災害を起こす要因であり，天城山を源とする河川では災害が多発しており，特に狩野川流域では影響が大きくなっております。海への影響も大きく，山の荒廃で栄養分が運ばれず，土砂による磯焼けで海岸が荒れ，豊かな漁場に影響が出ています。

■事業開始と事業費について

２０１１年より毎年ガバナー諮問委員会に環境保全の事業説明を行い，承認され実施しております。ＺＣＰを中心として各クラブより選出された委員により事業を進めています。活動資金は４Ｒ全メンバーより１人１，０００円を拠出して頂いております。又，４Ｒ－１６クラブの合同のホームページを作成し，天城山環境保全委員会で管理しており，各クラブの会長挨拶・事業運営等を掲載しています。

●総事業費　５,０８５,０００円



■この１３年間での事業経過

２０１１～２０１２年	天城山環境問題の啓発活動ＤＶＤ・パンフ作成
２０１２～２０１３年	登山縦走路に５ｍの橋の建設寄贈・写真パネル作成
２０１３～２０１４年	石楠立の縦走路に案内板作成（１６クラブ名入り）
２０１４～２０１５年	啓蒙ポスター作製・環境保全講演会開催・委員会メンバーの山頂縦走路８ｋｍ視察完走
２０１５～２０１６年	一般参加者４０名と八丁池登山・周辺の清掃活動
２０１６～２０１７年	天城山の現状を地元新聞に２回掲載
２０１７～２０１８年	天城山西側と山頂付近皮子平の現地視察登山
２０１８～２０１９年	啓蒙ポスター作製１,０００枚・環境講演会開催・ＨＰの立ち上げ
２０１９～２０２０年	講演会（オオカミは人を襲わない）丸山直樹先生・万二郎岳荒廃視察登山
２０２０～２０２１年	コロナ禍により活動中止
２０２１～２０２２年	コロナ禍により活動中止
２０２２～２０２３年	講演会開催（天城山の猟師活動・女性猟師のジビエ料理）
２０２３～２０２４年	講演会開催（鹿の現状報告・天城山森林生態系の今後）

■今後の課題は山積

この事業を進めてきて各種の問題が浮かび上がってきました。伊豆全体の人口減少は顕著で，この２０年間で７５万人から３５万人になりました。山村の人口減少により森林の管理が行われ無いため山が荒れています。同時に川も荒れ，その先の海も荒れて行きます。

天城山環境問題と同時に地域活性化を強力に進めていき，活力ある伊豆を守らなければなりません。４Ｒ１６クラブが共通の理念の基にこれからも豊かな郷土を守ってゆく事業を継続します。

天城山自然環境保全・地域活性化委員会　委員長　Ｌ望月良和（大仁ＬＣ）

Dist. Governors Award

地区ガバナー特別賞紹介

地区ガバナー特別賞 Governors Award

CN60周年記念事業「名球会野球教室」

1R・2Z 袋井LC

ＣＮ６０周年を迎える今年度は「６０年の感謝と新たな一歩へ“Ｗｅ Ｓｅｒｖｅ”」をスローガンに掲げ，これまでのクラブの歴史を振り返り，地域の皆様に感謝をお伝えする例会・事業を展開してまいりました。

そして，６０周年記念事業には「未来ある子どもたちに夢や感動を与える事業がしたい！」「将来的な人づくりに繋がる事業がしたい！」そんな思いから企画されたのが野球教室でした。そこにプロ野球界で活躍された方々が講師として参加してくだされば，より充実した野球教室になるのではないかと考え，実現に移すべく動き出しました。

野球教室開催にはクラブシェアリング交付金を活用し，名球会から大リーグでも活躍され，千葉ロッテマリーンズの監督もされた井口資仁（いぐちただひと）氏，中日ドラゴンズ一筋，名投手の岩瀬仁紀（いわせひとき）氏をお招きし「名球会野球教室」として開催することができました。参加した子ども・指導者は約２３０名，引率・観覧してくださったご父兄も合わせると３００名以上にのぼりました。両氏の懇切丁寧かつ熱のこもった指導は参加した子どもたちの心を魅了しただけではなく，指導者からも大変有意義な時間であり，今後の指導にも役立てていきたいと感謝の言葉をいただくことができました。

野球教室はメンバーの力だけでは決して成功させることはできませんでした。

企画当初から何回も打ち合わせに参加し，協力していただいた静岡県野球連盟袋井支部の方々，雨の中，野球教室の模様を撮影してくださった静岡県立袋井商業高等学校写真部の先生・生徒の皆様に感謝申し上げます。

私たちは，これからもライオンズメンバーとして子どもたちの未来が明るく平和でありますように，そして，地域のために活動を続けていきたいと思います。

Dist. Governors Award

地区ガバナー特別賞紹介

アラートシンポジウム「守ろう、みんなの笑顔、地域の未来」

2R・1Z 5LC 合同アクティビティ
静岡LC・静岡葵LC・静岡橘LC・静岡青葉LC・静岡芙蓉LC

アラートシンポジウムは，地域社会における自然災害発生時の対応とライオンズクラブの活動の重要性に関するテーマで１０月１８日に開催されました。

はじめに，事前に災害ボランティア活動について学ぶべく，各クラブと連携し２０２３年７月８日，災害ボランティアセンターサポートスタッフ養成講座参加。８月２７日と９月２７日には「ふじのくに災害ボランティアコーディネーター認定講座」にゾーンチェアパーソンをはじめ５クラブのメンバーが計２５名受講し，認定書を取得しました。各クラブが災害についての知識を深め，シンポジウムに臨みました。

シンポジウム当日は「守ろう，みんなの笑顔，地域の未来」のスローガンの下，講師として静岡市社会福祉協議会の川島徹也氏，（一社）日本ライオンズ アラート委員会 西日本統括リーダーのＬ藤井信英（岡山ライオンズクラブ），（一社）日本ライオンズ アラート委員会 東日本統括リーダーのＬ木村知紀（青森ＺＥＲＯライオンズクラブ）をお迎えし，今後起こりうる災害への備えや，地域社会や全国のライオンズクラブとの連携について講演がありました。

参加者は，２Ｒ１Ｚ ５ＬＣのメンバーのほか，前田地区ガバナー，地区委員，２Ｚ，３Ｚ，４Ｚの関係者など，総勢１８１名が参加し，多角的な視点からの情報提供や意見交換が行われました。また２Ｒ１Ｚ ５ＬＣ ２８２名のメンバーからの協力金（423,000 円）で，残水排水用ポンプ及び耐圧ホース等周辺備品含め２セット，送風機及びダクトセット等周辺備品含め４セットを静岡市社会福祉協議会に贈呈しました。

このシンポジウムを契機に，各クラブでアラート活動への関心が高まり，令和６年１月１日の能登半島地震では，１月１４日，２１日に静岡駅北口地下道などで災害支援の募金活動を実施し，２日間で述べ１３２名が参加，1,257,563 円の募金が集まり，いち早く３３４－Ｄ地区に送金しました。１月２７日，２８日には，静岡おでん１，０００食などを準備し，能登町にて炊き出しを実施，早速，本シンポジウムの成果をみることが出来ました。

本シンポジウムを通して，新たなアラート委員会の設立やアラート委員の選出の検討や災害時に迅速な対応が出来たことは，組織の連携と災害対応能力の向上を示す重要な成果です。

Dist. Governors Award

地区ガバナー特別賞紹介

地区ガバナー特別賞 Governors Award

沼津中央ライオンズ基金活用継続事業

3R・1Z 沼津中央LC

■沼津市内の高校生に奨学金を授与

ＣＮ１０周年時に会員寄付等により集まった資金1,300万円をもとに「沼津中央ライオンズ基金」設立，ＣＮ２０周年時にはメンバーによる寄付と各種事業より基金総額5,000万円を達成，継続事業として，基金を活用，青少年健全育成をめざし，返済不要の奨学金制度をＣＮ１０周年時よりスタート，３８年間に１４１人認証する事が出来ました。毎月15,000円，本年度は１０名に総額１８０万円を授与。

（累計5,700万円）

■ＣＮ２０周年時に「沼津中央ライオンズ文庫」設立

２９年継続，今年度は市内１８中学校に図書２０８冊「３６万円相当」を贈呈しました。

（累計1,326万円）

■沼津市中学生サッカー大会の開催

ＣＮ１６周年時から始めた「沼津中央ライオンズクラブ杯沼津市中学生サッカー選手権大会」を開催，３２回継続実施，今年度は３５万円を提供しました。

（累計1,035万円）

■今年度は新たに献眼登録を推進１０９名の登録を達成。

（累計2,157人）

会員数が半減する中，三つの事業の継続は，総額8,000万円を超えました。ひとえに，沼津中央ＬＣの３８年前の会員の皆様による，他に類を見ないと思われる基金の設立が有っての事です。地域に奉仕する為に，ガバナー特別賞受賞は大変ありがたく，今後の活動の励みとなります。